

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1401004

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 病院事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 臨床検査システム更新事業 賃貸借契約(～H28.6) 事業費:H25～2,243千円 H26～2,243千円 H27～2,243千円 H28～ 561千円
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	5 地域医療体制維持の確立	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	臨床検査システム更新事業	見直し年度		
事業期間	平成23年度～平成24年度	担当課	14 国保病院	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	臨床検査システム更新数	関係課	#N/A	
事業目標	1件	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名	2 医療法・薬事法	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床検査システムの更新</li> <li>・機器更新及び検査ソフトの更新</li> <li>・院内オーダーリングシステムとの接続</li> <li>・外部検査委託先との接続</li> </ul>				●臨床検査システムの更新	●臨床検査システムの更新	
計画 事業費	事業費(千円)	4,031	0	0	0	1,788	2,243
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	4,031				1,788	2,243	
一般財源	0						
実績 事業費	事業費(千円)	4,031	0	0	0	1,788	2,243
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	4,031				1,788	2,243	
一般財源	0						
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	医業収入	【評価・実績】				<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床検査システムの更新</li> <li>●院内オーダーリングシステムとの接続</li> <li>●外部検査委託先との接続</li> <li>●賃借料の支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床検査システムの更新</li> <li>●院内オーダーリングシステムとの接続</li> <li>●外部検査委託先との接続</li> <li>●賃借料の支出</li> </ul>
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				1件	1件
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	100%
	全体達成率	0%	0%	0%	44%	100%	
	事業進捗状況				☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	臨床検査システム更新事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	安心で適切な医療提供するための機器整備(リース)		
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化による更新整備		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	検査機器の整備により、安心で適切な医療の提供をめざす		① 機器整備数(リース)	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安心で適切な医療の提供が確保され、町民の健康増進が図ることができる			目標値	1件
			実績値	1件	
			達成度	100.0%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	機器のリース	臨床検査機器のリース			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安心で適切な医療提供のための臨床検査システムは必要な事業である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	臨床検査システムのリース継続により、患者に対し迅速な検査対応をすることができた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	院内のオーダリングシステムとの連携等により、検査処理時間の短縮と合わせて患者の待ち時間短縮が図られた
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	町民全員に受益が及ぶものであり、公平性は保持されている
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
リースによる機器使用の継続により、迅速で適切な医療サービスの提供が図られた		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
迅速で適切な検査体制の維持と患者待ち時間の短縮等を図るため、引き続き継続が必要である		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止